Panasonic®



取扱説明書

IC レコーダー

品番 **RR-US300**

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に**「安全上のご注意」（P34 ～ 37）を必ずお読みください。**
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

保証書付き

パナソニックの会員サイト「CLUB Panasonic」で「ご愛用者登録」をしてください。（P42）

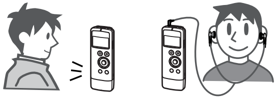
パナソニック株式会社 AVCネットワークス社 ネットワークシステム事業グループ
〒 571-8504 大阪府門真市松生町 1 番 15 号

VQT3T17
M0611KZ0

本機の楽しみかた

録音する　授業や講演会で

再生して聴く



スピーカーで　ヘッドホンで

パソコンと接続する　録音ファイルを取り込む / 整理（削除）する / 再生して聴く

本機には各種録音設定があり、録音環境に応じてお好みの設定に変更することができます。下記は録音シーンを例にした録音設定の目安です。
設定方法などの詳細は以降の各ページで紹介しています。

録音設定 / 録音シーン	音質 (P12)	マイク感度 (P12)
会議や授業などの録音	HQ	HI
口述録音	HQ	LO
お買い上げ時の設定	HQ	HI

付属品の確認

□単 4 形アルカリ乾電池：1 本

- 包装材料などは商品を取り出したあと、適切に処理をしてください。
- 小物部品については、乳幼児の手の届かないところに適切に保管してください。

この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

最新のサポート情報は、下記サポートサイトでご確認ください。
http://panasonic.jp/support/audio/

もくじ

「安全上のご注意」を必ずお読みください（P34 ～ 37）

準備

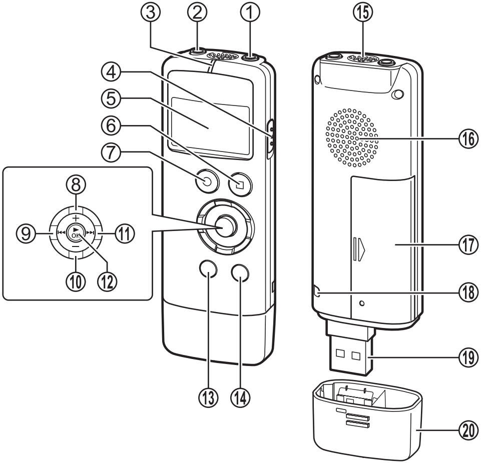
基本操作

応用操作

パソコンと使う

その他

各部のなまえ



① 外部マイク端子（ ）
（φ 3.5 mm モノラルミニジャック）
② ヘッドホン端子（ ）
（φ 3.5 mm モノラルミニジャック）
③ 録音ランプ（動作表示ランプ）
④ 電源 / ホールドスイッチ
⑤ LCD 表示部
⑥ ［■ 停止 / 戻る］ボタン
⑦ ［● 録音］ボタン
⑧ ＋（音量）ボタン
⑨ ⏮（早戻し）ボタン
⑩ ー（音量）ボタン
⑪ ⏭（早送り）ボタン
⑫ ［▶ OK］（再生 /OK）ボタン
⑬ ［メニュー / リピートモード］ボタン
⑭ ［消去 / A-B⭯］ボタン
⑮ 内蔵モノラルマイク
⑯ 内蔵スピーカー
⑰ 電池ふた
⑱ ストラップ取り付け穴
⑲ USB 端子
⑳ USB 端子ふた

画面表示

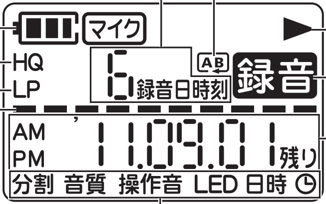
画面説明用です。同時に表示されることのない内容があります。

各種情報表示
- 録音した音声のファイル番号などが表示されます

電池残量（P6）

録音音質表示（P12）

レベルメーター
- 録音している音源の音量、再生位置、停止時の録音残り時間、音量の設定時などに表示されます。



A-B リピート / 繰り返し再生表示（P14、15）

再生中表示（P10）

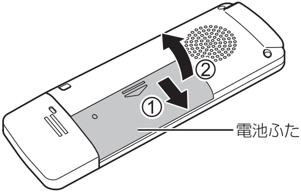
録音中表示（P9）

各種情報表示
- 時間表示などが表示されます

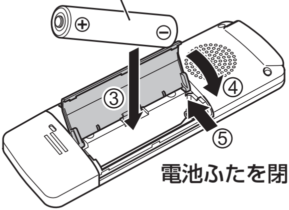
メニュー設定項目（P8、12、13、16、20）

電池を入れる

電池ふたを開ける（① ②）



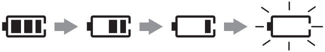
単4形アルカリ乾電池(1本)
⊕ と ⊖ を確認！



電池ふたを閉める（④ ⑤）

- 電池は付属または市販のアルカリ乾電池をお使いください。
- 長期間使用しないときは、本機から電池を取り出しておいてください。

本機の動作中、下記の電池残量表示が表示されます。

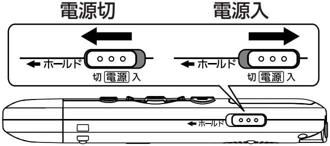


- 電池残量がなくなると“ ”が点滅します。お早めに電池を交換してください。
- 電池が切れると、“Lo bAT”と表示されたあと、自動で電源が切れます。
- 電池の状態や使用される動作内容によっては、電池切れで電源が切れた場合でも、再び電源を入れるとしばらくお使いいただけることがあります。ただし、電池残量不足のため、動作の途中で急に電源が切れることがあります。
- ファイル消去やフォーマット（P11）、ファイル分割（P16）の実行時は電池残量が必要です。電池残量表示が“ ”のときにこれらの操作を実行すると電池切れで電源 OFF になります。
- **電池を取り外す場合は電源を切った状態で行ってください。**
  - 電源を入れたままで電池を取り出すと、データが失われることや本機の故障につながることがあります。

初めて電池を入れたときや電池交換したときは、時計の設定を行ってください。（P8）

電源を入れる / 切る

電源 / ホールドスイッチ：



電源を入れるには：

電源 / ホールドスイッチを［入］側にスライドさせると電源が入り、表示が点灯します。

電源を切るには：

停止状態で、電源 / ホールドスイッチを［切］側にスライドさせます。

オートパワーオフ：

録音一時停止や停止状態で 30 分間経過すると自動的に電源が切れます。
オートパワーオフ機能で電源が切れた場合は、電源 / ホールドスイッチを切方向にスライドさせてから電源を入れてください。

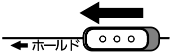
初めて電源を入れたときは、時計の設定を行ってください。（P8）

ホールド機能

ホールドにすると、ボタン操作を受け付けなくなります。

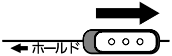
ホールド機能を使うには：

録音中や再生中に、電源 / ホールドスイッチを［ホールド］側にスライドさせます。
"On HOLd" が表示されてホールド機能が働きます。



ホールド機能を解除するには：

電源 / ホールドスイッチを［ホールド］と反対側にスライドさせます。
"OFF HOLd" が表示されてホールド機能が解除されます。

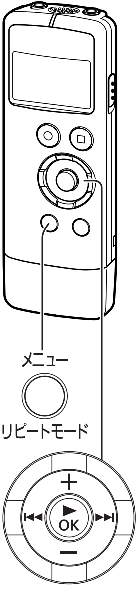


- ホールド中は、電源が入った状態で操作ボタンが押されても操作を受け付けない（"On HOLd" が表示されます。）ので、録音や再生が中断するなどの誤操作防止になります。
- ホールド中に録音や再生が終了すると、自動的に電源が切れます。

準備

時計を合わせる

時計はファイル名（P25）や録音日時情報の記録に使用しますので、正しい日時に設定しておいてください。電池を交換したときは、日時設定が必要です。



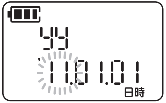
・電源を入れておく。（P7）

・お買い上げ後、初めて電源を入れた場合や電池を交換した場合は、手順 ❸ へ進んでください。

❶ ［メニュー / リピートモード］ を押す

❷ ⏮、⏭ で“日時”を選び、［▶ OK］ で決定する

❸ ＋、－ で“yy”（年）を設定し、⏭ を押す



・西暦の下 2 桁に設定してください。（2011 年なら「11」）

❹ ＋、－ で“MM”（月）を設定し、⏭ を押す

❺ ＋、－ で“dd”（日）を設定し、⏭ を押す

・前の設定項目に戻るには、⏮ を押します。

❻ ＋、－ で時刻表示方法を選び、⏭ を押す

24 時間表示は“24H”、
12 時間表示は“12H”を選択します。

・点滅している項目が、選んでいる表示方法です。

❼ ＋、－ で“HH”（時）を設定し、⏭ を押す

❽ ＋、－ で“MM”（分）を設定する

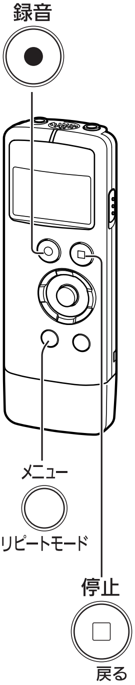
設定を変更するには、⏮、⏭ で項目を移動し、再度 ＋、－ で設定してください。

❾ ［▶ OK］ で決定する

・日時が設定され、時計動作を開始します。

● 時計精度は、室温で月差約± 60 秒です。
● 電池が消耗し切った状態になると、時計設定は解除されます。

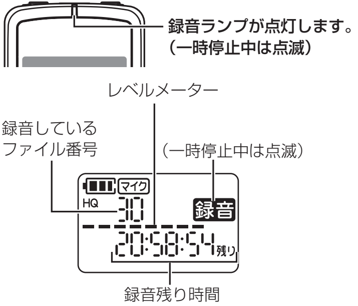
録音する



- 電源を入れておく。(P7)
- 停止状態でないときは、[■ 停止 / 戻る] を押す。

❶ [● 録音] を押す（録音開始）

押すたびに　一時停止 ⇄ 録音再開



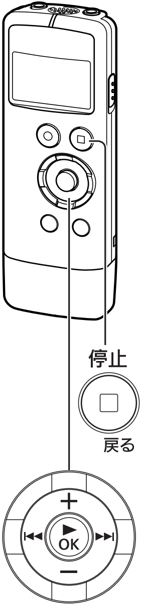
- 録音中に［メニュー / リピートモード］を押すと、録音残り時間表示と録音経過時間表示が切り換わります。

停止する：[■ 停止 / 戻る］を押す

ファイルとは

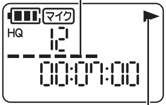
録音した音声データは、録音開始から停止するまでを 1 つのまとまりにして保存されます。この保存データをファイルと呼びます。
- 録音できるファイル数は、最大 199 です。

- 録音の前に、電池の残量が十分にあることを確認してください。
- 一時停止のまま約 30 分放置すると、録音を終了し、本機の電源が切れます。
- 必要に応じて“マイク感度”や“音質”を変更してください。(P12)
- **録音中､本機を手でこすったり物が触れると､マイクを通して､ガサガサという音が録音されます。お気をつけください。**



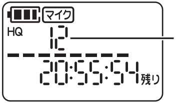
- 停止状態でないときは、[■ 停止 / 戻る］を押す。
- ファイルを選択しておく。（下記）

❶ [▶ OK］を押す（再生開始）



ファイルの選択

⏮、⏭ で選びます。
押すたびにファイル番号が変わります。



[■ 停止 / 戻る］を押すたびに表示内容（録音残り時間 / 総再生時間（選択ファイルの長さ（時間））/ 現在時刻 / 日付 / 録音時刻 / 録音日）が切り換わります。

音量を調整する

音量を大きくする：＋ を押す
音量を小さくする：ー を押す

0 から 20 までの間で調整できます。
（お買い上げ時は“10”）
音量が 17 以上の状態で電源を切った場合、次に電源を入れたとき、音量は 16 に設定されます。

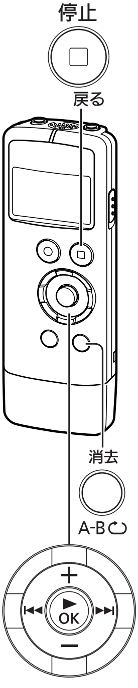
再生中の操作

とび越し（スキップ）：
⏮、⏭ をポンと押す。
ファイルの途中で ⏮ を押すと、そのファイルの先頭にとびます。前のファイルに戻る場合は、ファイル先頭で約 1 秒以内に ⏮ を押す。

早戻し / 早送り（サーチ）：
⏮、⏭ を押したままにする。

停止：[■ 停止 / 戻る］を押す。

ファイルを消去する / フォーマットする



不要なファイルを消去します。

・停止状態でないときは、［■ 停止 / 戻る］を押す。

消去方法は 3 種類あります。

FILE： ファイルを 1 つだけ選んで消去します。

FOLdER： “MIC”フォルダ内の全ファイルを消去します。（フォルダ自体は消去できません）

ALL ERASE： 内蔵メモリー内の“MIC”フォルダおよびパソコン接続時に表示される“DATA”フォルダ内のデータなど**すべてのデータを消去します**。（フォーマット）

❶ ⏮、⏭ で消去するファイル番号を選ぶ

消去方法を“FOLdER”や“ALL ERASE”にする場合は、この操作は必要ありません。

❷ ［消去 / A-B］を押す

・キャンセルするには、もう一度［消去 / A-B］または［■ 停止 / 戻る］を押します。

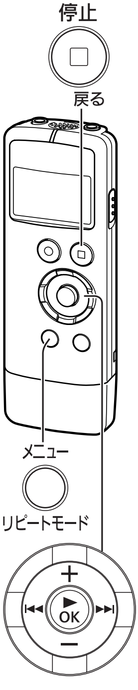
❸ ⏮、⏭ で消去方法を選び、［▶ OK］を押す

・ファイルを 1 つだけ消去したいときに誤って、“FOLdER”や“ALL ERASE”を選択しないようによく確認して選んでください。

❹ ⏮、⏭ で“YES”を選び、［▶ OK］を押す

消去中は動作表示ランプが点滅します。消去の完了までに数分かかる場合があります。

● 消去すると元に戻すことはできません。
● フォーマット実行中は、取り消しはできません。
● 消去の前に、電池の残量が十分にあることを確認してください。
● フォーマット中に、電池を抜かないでください。
● ファイル消去（FILE）では、本機で再生可能なファイルのみ消去できます。
● 消去後、本機に表示されるファイル番号は前詰めされます。



マイク感度を切り換える

音源の音量に応じてマイク感度を切り換えてください。音源の音量が大きい場合は感度を"LO"(低)に、音量が小さい場合は感度を"HI"(高)に設定します。

- 停止状態でないときは、[■ 停止 / 戻る] を押す。

❶ [メニュー / リピートモード] を押す

❷ ⏮、⏭ で " マイク " を選ぶ

❸ ＋、ー で " HI " または " LO " を選ぶ

HI: マイク感度を高感度に設定します
LO: マイク感度を低感度に設定します
(お買い上げ時は "HI")

❹ [▶ OK] で決定する

音質を切り換える

録音時の音質を切り換えることができます。

- 停止状態でないときは、[■ 停止 / 戻る] を押す。

❶ [メニュー / リピートモード] を押す

❷ ⏮、⏭ で " 音質 " を選ぶ

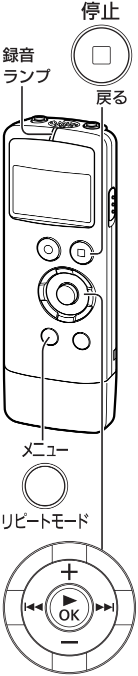
❸ ＋、ー で " HQ " または " LP " を選ぶ

HQ：高音質モード（128 kbps、モノラル）
LP：長時間モード（32 kbps、モノラル）
（お買い上げ時は "HQ"）

❹ [▶ OK] で決定する

● 音質によって録音可能時間が変わります。(P32)

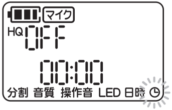
指定した時刻に録音する（タイマー録音）



・停止状態でないときは、[■ 停止 / 戻る］を押す。

❶ [メニュー / リピートモード］を押す

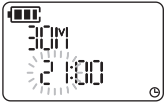
❷ ⏮、⏭ で " ◷ " を選び、[▶ OK］を押す



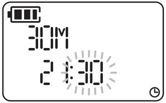
❸ ＋、－ で録音時間を選び、⏭ を押す

30M：30 分
1H：　1 時間
2H：　2 時間
ALL：空き容量いっぱいまで
OFF：タイマー設定を無効にする

❹ ＋、－ で録音を開始する時間の「時」を指定し、⏭ を押す

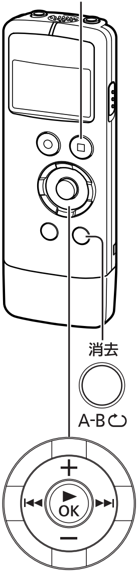


❺ ＋、－ で録音を開始する「分」を指定し、[▶ OK］を押す



タイマー予約設定後は "◷" が表示されます。
予約時刻の約 1 分前になると "録音"、録音ランプ、"◷" が点滅し、スタンバイ状態になります。
タイマー録音実行中やスタンバイ中に [■ 停止 / 戻る］を押すと、実行を中止できます。

● 予約時刻に電源を切っていた場合は電源が入って予約を実行し、終了時刻に電源が切れます。
再生中の場合は再生を停止し、タイマー録音を実行します。
● 次の場合は、タイマー録音はできません：
- 本体をパソコンに接続中の場合
- 録音可能ファイル数（199）に達している場合
- 内蔵メモリーの空き容量がない場合
- 録音中または録音一時停止中の場合

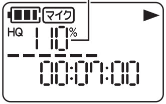


再生速度を変更する

再生速度を遅聴き 0.5 倍速（50%）から早聴き 2 倍速（200%）まで 21 段階で調整できます。

❶ 再生中に［▶ OK］を押す

❷ ⏮、⏭ を押して再生速度を調整する



- ⏭：押すたびに再生速度が速くなります。
- ⏮：押すたびに再生速度が遅くなります。

1 倍速よりも速い場合は 10%ずつ、1 倍速よりも遅い場合は 5%ずつ、再生速度を調整できます。

- ［■ 停止 / 戻る］を押すと 100% に戻ります。

❸［▶ OK］を押す

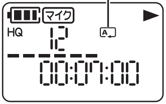
設定値が確定します。

- ファイルによっては、正常に再生できないことがあります。

A-B リピート再生

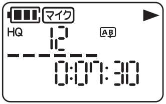
始点（A）と終点（B）を設定すると、その間を繰り返し再生します。

❶ 再生中に［消去 / A-B⟲］を押す



始点（A）が設定され“A”（点灯）と“B”（点滅）が表示されます。

❷ 終点（B）で［消去 / A-B⟲］を押す

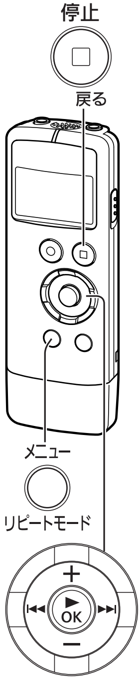


“AB”（点灯）に変わり、A-B リピート再生が始まります。

A-B リピート再生を解除する：

もう一度［消去 / A-B⟲］を押します。（［■ 停止 / 戻る］または ⏮、⏭ でも解除できます。）

- 始点（A）と終点（B）の間が約 2 秒以下の場合、A-B リピート設定できません。
- 始点（A）を設定したまま、ファイルが終わりまで再生されると、ファイルの終端を終点（B）として A-B リピートが開始されます。
- ファイルをまたいでの A-B リピートはできません。



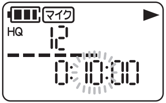
位置を指定して再生（時間指定サーチ）

時間指定した位置から再生することができます。

❶ 再生中に［メニュー / リピートモード］を押す

再生が停止し、現在の再生位置（時間）が表示されます。

❷ 再生開始位置を設定する



⏮、⏭ で "時"、"分"、"秒" を選び、＋、－ で数値を変更します。

・［メニュー / リピートモード］または［■ 停止 / 戻る］を押すと、再生に戻ります。

❸［▶ OK］を押す

指定した位置から再生されます。

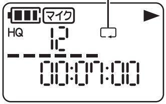
● 時間指定サーチは選択中のファイルでのみ行うことができます。

繰り返し再生（リピート設定）

❶ 再生中に［メニュー / リピートモード］を 2 秒以上押す

［メニュー / リピートモード］を 2 秒以上押すごとにリピートモードが切り換わります。

リピートモード表示

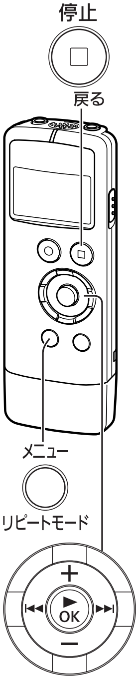


表示無し　：通常の再生です。最終ファイルの再生終了後は停止状態になります。

（点灯）：選択している 1 つのファイルだけを繰り返し再生します。

（点滅）：全ファイルを繰り返し再生します。

ファイルを分割する



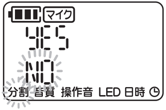
1 つのファイルを指定した位置で 2 つに分割できます。必要部分の抜き出しや不要部分のカットができます。

❶ **再生中にファイルを分割したい位置で［■ 停止 / 戻る］を押す**

❷ **［メニュー / リピートモード］を押す**

❸ **⏮、⏭ で“分割”を選ぶ**

“分割”と“NO”が点滅します。



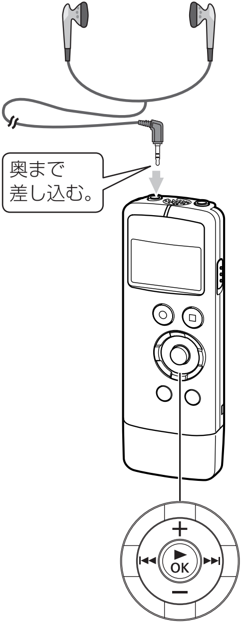
❹ **＋、－ で“YES”を選び、［▶ OK］を押す**

分割中は動作表示ランプが点滅します。
その後 2 つのファイルに分割され、2 つ目のファイルの先頭位置で停止します。
- “OK”と表示されたら、ファイル分割の完了です。
- “NO”を選ぶと分割を中止します。

- ファイルを分割するには、約 2 秒以上のファイル長さが必要です。
- ファイルの先頭ではファイルの分割ができません。
- 分割したファイルを元に戻すことはできません。
- ファイル分割が完了するとファイルが 1 つ増えます。
- 内蔵メモリーの空き容量がない場合や、すでに 199 ファイル録音されている場合は、ファイル分割できません。
- パソコン上での分割後のファイル名については P25 をご覧ください。

ヘッドホンで音声を聴く

ヘッドホン（市販）を接続してください。（プラグタイプ：φ 3.5 mm モノラルミニプラグ）
ステレオタイプのヘッドホンを使用すると、左右ともモノラルの音声になります。



録音中の音声をモニターする

録音中のモニター音声を聴くことができます。

音量を調整する：

＋、－ を押すと音量を調整できますが、録音される音声には影響しません。

再生中の音声を聴く

再生中の音声は内蔵スピーカーから聴こえます。周りが騒がしく、音が聴きとりにくい場合は、ヘッドホンでお聴きください。

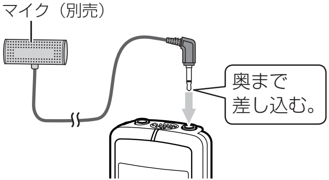
- ヘッドホンを接続すると、内蔵スピーカーからの音声は出なくなります。

外部マイクを接続して録音する

本機の外部マイク端子に外部マイク（モノラルマイク）を接続して録音します。
ステレオマイクでは、L チャンネル側の音声のみ、モノラルで録音されます。

❶ 外部マイクを接続する

外部マイクの接続：



プラグインパワーで φ 3.5 mm ミニプラグのマイクを使用してください。（推奨品：RP-VC151）

テレホン用マイクの接続：

①テレホン用マイクのプラグを本機の外部マイク端子に接続する
②テレホン用マイクを、受話器を当てる側の耳に挿入する
③電話をする



テレホン用マイク（別売）（推奨品：RP-WA1A）
φ 3.5 mm モノラルミニプラグ

❷ [● 録音］を押して、録音を開始する

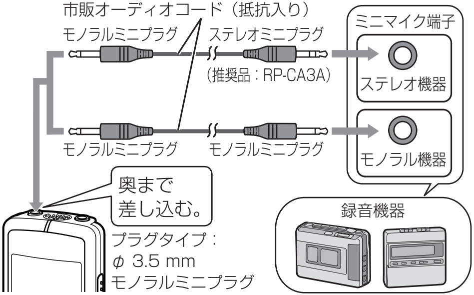
録音操作については、P9 をご覧ください。

- **接続する機器の説明書もお読みください。**
- 音源の音量が小さい、または大きすぎる場合は、マイク感度を調整してください。（P12）
- 外部マイク端子に機器を接続している間は、本機の内蔵マイクは働きません。
- 別売品の品番は、2011 年 6 月現在の品番です。

他機器と接続する

本機から他機器へ録音する（ダビングする）：

❶ 下記のように接続する



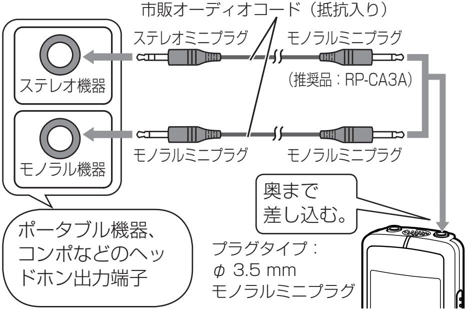
❷ 録音する

①録音機器の録音を開始する
②ダビングしたいファイルを本機で再生する（P10）

- **接続する機器の説明書もお読みください。**
- モノラル / ステレオ（接続する機器）に応じた接続コードをお使いください。間違った組み合わせで使用した場合、片チャンネルしか録音されないなど、正常に録音できない場合があります。
- ダビング後の音質は、ダビング前の音質とは異なる場合があります。
- 適切な音量で録音するために、本機で音量を調整してください。
- 別売品の品番は、2011 年 6 月現在の品番です。

他機器から本機へ録音する：

❶ 下記のように接続する

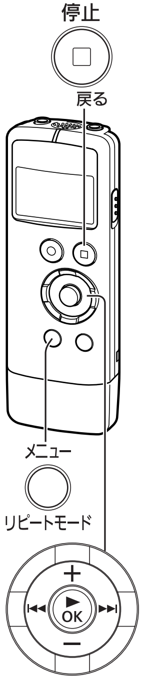


❷ 録音する

①本機で録音を開始する（P9）
②他機器を再生する

- **接続する機器の説明書もお読みください。**
- 音源の音量が小さい、または大きすぎる場合は、マイク感度を調整してください (P12)。または、他機器の音量を調整してください。
- ステレオタイプのコードを使用される場合は、R チャンネルは録音されません。
- 別売品の品番は、2011 年 6 月現在の品番です。

共通設定



録音、再生に共通する本機の設定を行います。

共通設定の操作のしかた

・停止状態でないときは、［■ 停止 / 戻る］を押す。

❶ ［メニュー / リピートモード］を押す

❷ ⏮、⏭ で設定項目（“操作音”または“LED”）を選ぶ

・点滅している項目が、現在選んでいる設定です。

❸ ＋、− で設定を変更する

・⏮、⏭ を押すと設定を確定し、次の設定項目を続けて設定することができます。

❹ ［▶ OK］を押す

“時計設定”については、P8 をご覧ください。

操作音

ボタン操作時の操作音を設定します。

OFF：　鳴らさない

On：　ピッという音を鳴らす

VOICE：音声ガイドとピッという音を鳴らす

（お買い上げ時は“VOICE”）

● “On”または“VOICE”に設定しても録音中や録音一時停止中、操作音は鳴りません。

LED（録音ランプ）

録音時、録音ランプを点灯させるかどうかを設定します。

OFF：点灯させない

On：　点灯させる

（お買い上げ時は“On”）

● “OFF”に設定してもファイル消去時などは点滅します。

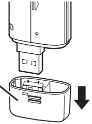
本機をパソコンに接続する

本機で録音した録音ファイルをパソコンに取り込めます。

● 動作環境の詳細については、P26 をご覧ください。

・パソコンを起動させておく。
・本機の電源を切っておく。

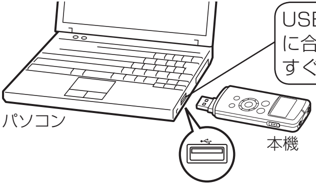
❶ USB 端子ふたを取り外す



取り外した USB 端子ふたは保管しておいてください

● USB 端子ふたは、誤って飲み込まないように乳幼児の手の届くところに置かないでください。

❷ 本機をパソコンに差し込む



● USB 端子の状態によってパソコンに接続しにくい場合は、USB 延長ケーブル（別売）（推奨品：RP-CUMB20）をご使用ください。
● 別売品の品番は、2011 年 6 月現在の品番です。
● 推奨品以外の USB 延長ケーブルで接続した場合の動作は保証していません。
● パソコンとの接続時は、本機に電池がなくても動作します。

■初めて接続した場合

図のようなメッセージが複数回表示されるので、メッセージが消えるまでは本機を取り外さないでください。表示は Windows XP（OS）の場合です。



■パソコンに接続中の画面の表示

接続時



通信時



データ転送中は、絶対に本機を抜かないでください。
ファイルデータや本機が壊れる可能性があります。
パソコン接続中は、本機の操作はできません。

本機をパソコンに接続する（つづき）

- 本機とパソコンを接続していると､パソコンが起動（再起動）しない場合があります。パソコンを起動（再起動）するときは、本機を抜いておくことをおすすめします。
- 1 台のパソコンに 2 台以上の USB 機器を接続している場合や、USB ハブ、推奨品以外の延長ケーブルを使用する場合は、動作を保証しません。
- 本機とパソコンを接続中にパソコンを起動（再起動）したり、パソコンが省電力モードになると、パソコンが本機を認識しないことがあります。本機を取り外して再接続するか、パソコンを再起動してから本機を接続し直してください。
- パソコンの取り扱い方法については、パソコンの取扱説明書をご覧ください。

■本機を取り外す

パソコンの画面下のタスクトレイにあるアイコン（Windows XP: []、Windows Vista / Windows 7 : []）をダブルクリックし、画面の指示に従って取り外してください。（OS の設定によっては表示されません。）
取り外したあとは、本機の電源が切れます。

■USB マスストレージ機能

本機は USB メモリーとしても機能し、パソコンの外部記憶装置として認識されます。
パソコン内のデータファイルを本機内に転送 / 保存することができます。

- OS：パソコンの基本ソフトウェア（Windows XP など）
- ダブルクリック：マウスの主ボタンを 2 回連続で押すこと
- マウス：パソコン操作で入力位置の指示などを行う機器

本機のフォルダを開く

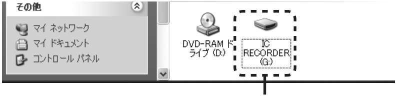
表示は Windows XP（OS）の場合です。OS によって表示は変わります。

・本機をパソコンに接続しておく。（P21）

❶「スタート」から「マイ コンピュータ」を指定して右クリックから「開く（O)」を選ぶ

本機が“IC RECORDER”として表示されます。





パソコンの構成、外部記憶装置の種類などは一例です。パソコンによって表示は異なります。

“IC RECORDER（G:)”の“G”は他のアルファベットの場合もあります。

パソコンによっては、本機が“リムーバブルディスク”と表示される場合があります。

・右クリック：マウスの副ボタン（右利き用マウスの場合は右ボタン）を押すこと

❷“IC RECORDER（G:)”（本機）を指定して右クリックから開く



❸“MIC”フォルダを指定して右クリックから開く

本機の録音ファイルが表示されます。



ファイルをパソコンに取り込む / 整理する

・パソコン画面に表示された“IC RECORDER”（本機）を開き、“MIC”フォルダを開いておく。（P23）

録音ファイルをパソコンに取り込む

❶ **本機の録音ファイルを指定して、右クリックから「コピー (C)」を選ぶ**

❷ **パソコン内のフォルダなどを指定して、右クリックから「貼り付け (P)」を選び、パソコン内へ取り込む**

本機のフォルダ　　　パソコンのフォルダ



録音ファイルをパソコンで再生する：

本機の録音ファイルを指定して、右クリックから「再生 (P)」を選ぶ。

不要な録音ファイルをパソコンで削除する：

本機の録音ファイルを指定して、右クリックから「削除 (D)」を選び、「はい (Y)」で決定する。

フォルダ名を変更しないでください

パソコンで本機の“MIC”フォルダ名を変更すると、本機の電源を入れた時点で、新たに“MIC”フォルダが生成され、名前を変更したフォルダ内のファイルは再生対象外になります。

- 「ドラッグ＆ドロップ」でも録音ファイルをパソコンに取り込むことができます。
- データ転送中は、**絶対に本機を抜かないでください。** ファイルデータや本機が壊れたり、データがすべて失われる可能性もあります。
- **パソコンで、本機をフォーマットしないでください。**
- パソコン上で表示されるファイルの拡張子は、“MP3”になります。
- “DATA”はデータファイルなどを保存するフォルダです。パソコンから確認できますが本機の画面には表示されません。

・MP3：MPEG Layer-3 オーディオの略称で、音声圧縮規格の一種

ファイル名について

パソコンで表示されるファイル名：

例：2011 年 9 月 20 日 17 時 20 分の場合

001M_110920_1720.MP3

① ファイル番号（001 ～ 199）
② フォルダ名（“MIC”）
③ 録音日（半角数字 6 文字）
④ 録音時刻（半角数字 4 文字）
⑤ ファイル拡張子

“_”（半角）

パソコンでは上記ファイル名が表示されますが、本機画面上では“1”などの番号で表示されます。

ファイル削除 / 分割によるファイル名の自動変更：

本機内の録音ファイルを削除すると、ファイルが前詰めされ、ファイル番号が自動的に再割り当てされます。

例：“002M_110925_0905.MP3”を削除の場合

削除前	削除後
001M_110920_1720.MP3	001M_110920_1720.MP3
002M_110925_0905.MP3	002M_111003_1233.MP3
003M_111003_1233.MP3	003M_111231_1915.MP3
004M_111231_1915.MP3	

削除ファイル以降の、すべてのファイル名のファイル番号部分が変更されます。

ファイル分割をするとファイルが 1 つ増えます。増えたファイル以降のファイル番号は自動的に後ろにずれ、ファイル名のファイル番号部分が変更されます。

パソコンに取り込んだファイルを本機へ戻すには：

パソコンに取り込んだファイルを本機の元のフォルダに戻すと本機で再生できます。（ファイル名を変更している場合は再生できません。）

ただし、ファイル削除などで本機内のファイル名が変更されている場合、戻そうとするファイルとファイル番号が重複し、本機で再生できない場合があります。

パソコンの動作環境

（2011 年 6 月現在）

対応パソコン	IBM PC/AT 互換機、Macintosh	
対応 OS	・Windows® XP Home Edition/Professional および SP2、3 ・Windows Vista® Home Basic/Home Premium/Business/Ultimate および SP1、2 ・Windows® 7 Starter/Home Premium/Professional/Ultimate および SP1	プリインストールされた各日本語版
	・Mac OS X 10.2.8 － 10.6	
インターフェース	USB 端子（USB ハブで接続した場合の動作は保証していません。）	

※ 推奨環境のすべてのパソコンについて動作を保証するものではありません。
※（Macintosh）OS の標準ドライバーで動作します。
※ NEC　PC-98 シリーズとその互換機での動作は保証していません。
※ 対応 OS 以外での動作は保証していません。
※ OS のアップグレード環境での動作は保証していません。
※ お客様が自作されたパソコンでの動作は保証していません。
※ Windows Media® Player をご使用の際には、お客様ご使用のパソコンが Windows Media® Player の動作環境を満たしている必要があります。Windows Media® Player に関する詳細は Microsoft 社にお問い合わせください。
※ 本機で録音したファイルは、当社製 TRC、ADPCM 形式での IC レコーダーで再生することはできません。また、本機で録音した MP3 ファイルは、TRC、ADPCM 形式の IC レコーダーに付属のパソコンソフト（Voice Editing）で読み込むことはできません。
※ 本機で録音した内容は、専用ソフトを使わずにパソコンへ転送できます。本機には、パソコンソフト（Voice Editing）は付属していません。

パソコンの環境によっては本機で録音した音声データが使えない等の不具合が発生する場合があります。お客様の音声データの損失ならびにその他の直接 / 間接的な障害につきましては、当社および販売店等に故意または重過失がない限り、当社および販売店等はその責任を負いません。

Q&A（よくあるご質問）

Q（質問）	A（回答）
他のパナソニック製 IC レコーダーで録音したファイルは再生できますか？	• 本機では再生できません。ただし、本機で録音したファイルを他のパナソニック製 IC レコーダーの“MUSIC”フォルダに入れると再生できます。
他のパナソニック製 IC レコーダー（RR-US470 など）に付属している音声編集ソフト（Voice Editing）は使用できますか？	• 本機で録音したファイルは使用できません。
マンガン電池は使えますか？	• マンガン電池、ニカド電池は使用できません。アルカリ乾電池のご使用をおすすめします。

こんな表示が出たら

表示	ここをご確認ください
199 FULL （音声：ファイルがいっぱいです）	• 録音可能ファイル数（199）を超えて録音しようとした場合に表示されます。（P9）
ALL FULL（音声：メモリがいっぱいです）	• 内蔵メモリーに空き容量がないときに録音しようとした場合に表示されます。（P32）
NO FILE（音声：ファイルがありません）	• フォルダ内にファイルがないときに再生しようとした場合に表示されます。
Lo bAT （音声：電池を交換してください）	• 新しい電池と交換してください。

故障かな !?

修理を依頼される前に、この表で症状を確かめてください。なお、これらの処置をしても直らない場合や、この表以外の症状は、お買い上げの販売店にご相談ください。

こんなときは		ここをご確認ください
電池	他機器でまだ使える電池が本機で使用できない	・電池容量がわずかになった時点を寿命としています。
操作	本機が動作しない	・電池が外れていませんか？一度電池を完全に抜いてから、電池を正常に入れ直してください。または、新しい電池に交換してください。 ・ホールド状態になっていませんか？ホールドを解除してください。（P7） ・パソコン接続時は本機では操作できません。
	操作ができない	・ホールド状態になっていませんか？ホールドを解除してください。（P7） ・パソコン接続時は本機では操作できません。
録音	メモリー容量を使い切るのが早い	・音質によって録音可能時間は大きく変わります。（P32）ご使用の目的に応じて音質を選んでください。（P12） ・データファイルが増えていませんか？ファイルを整理してください。（P11）
	録音時にヘッドホン（市販）で音声を聴くと、「ピー」という雑音が混じる	・音量を下げてください。（P10） ・ヘッドホンと本機を離してください。 ・外部マイク使用時は、ヘッドホンと外部マイクを離してください。
	録音内容が途中までしか録れていない	・録音中、落下などの衝撃が加わったり、電池が外れたり、電池切れになったりすると、録音データの更新ができないことがあります。 ・内蔵メモリーを使い切っていませんか？
	録音できない	・内蔵メモリーの空き容量はありますか？ ・フォルダ内に録音可能ファイル数（199）が録音されていませんか？ 199 ファイル録音されている場合はそれ以上録音できません。
	録音時に“ERROR”が表示される	・内蔵メモリーの書き込みが遅くなっている可能性があります。ファイルをパソコンにバックアップし、本機をフォーマットしてください。

こんなときは		ここをご確認ください
録音	録音したファイルに音とびが発生する	・パソコンで本機をフォーマットしていませんか？パソコンでのフォーマットでは本機の性能が十分に発揮できない場合があります。本機でフォーマットしてください。（P11）
	録音した音声にガサガサと雑音が入る	・録音中、本機を手でこすったり物が触れると、マイクを通してガサガサという音が録音されます。マイク録音中はできるだけ本機に物が触れないようにしてください。
	録音した音が割れる 音声のしゃべりだし（頭の）部分に「ボッボッ」とノイズがある	・マイク感度（P12）を下げるか、または録音音源からの距離を遠ざけてください。
	録音した音声に雑音がまざって聴きとりにくい	・本機と携帯電話を近づけて使っているときは、本機と携帯電話を離してください。 ・音質やマイク感度（P12）を切り換えて試し録りしながら、最適な録音設定にしてください。
	録音した音が大きすぎたり小さすぎたりする	・マイク感度を切り換えてみてください。（P12）
	タイマー録音ができない	・内蔵メモリーの空き容量はありますか？ ・フォルダ内に録音可能ファイル数（199）が録音されていませんか？ 199 ファイル録音されている場合はそれ以上録音できません。 ・本機がパソコンに接続されている場合は動作しません。パソコンから取り外してください。

故障かな !?（つづき）

こんなときは		ここをご確認ください
再生	スピーカーから音が出ない	・ヘッドホン（市販）を接続していませんか？（P17）
	音声が聴こえない	・音量を調整してください。（P10）
	本機で録音した録音ファイルだが再生できない	・ファイル名が変更されていませんか？“MIC”フォルダ内ではファイル名の付けかたに従った名前のファイルしか再生できません。ファイル名を変更していない場合でもフォルダ内でファイル番号が重複していると再生できません。（P25）
	“MIC”フォルダ内のファイルが再生できない、または正しく再生できない	・パソコンで作成した MP3 ファイルを本機に転送していませんか？ パソコンで作成した MP3 ファイルを本機に転送しても再生できません。
	再生速度が速かったり、遅かったりする	・再生速度を変更していませんか？（P14）
	ヘッドホン（市販）から音が聴こえない、聴こえにくい、雑音がする	・プラグは奥までしっかりと差し込まれていますか？ ・プラグが汚れていませんか？（プラグをきれいにふいてください。）

こんなときは		ここをご確認ください
その他	電源が入らない	・電池が消耗していませんか？新しい乾電池と交換してください。（P6）
	電源が勝手に切れる	・オートパワーオフ機能（停止や録音一時停止で 30 分間操作しないと自動的に電源が切れる機能）が働いていませんか？（P7）
	消去時に“ERROR”が表示される	・ファイル属性“読み取り専用”のファイルを消去しようとしています。パソコンに接続し、パソコンで削除してください。
	ファイル分割ができない	・内蔵メモリーの空き容量はありますか？ ・フォルダ内に録音可能ファイル数（199）が録音されていませんか？ 199 ファイル録音されている場合はファイル分割できません。 ・ファイルの録音時間が短すぎませんか？ファイル分割するには約 2 秒以上のファイル長さが必要です。
	パソコンに接続しても、本機を認識しない	・パソコンの OS が非対応ではありませんか？（P26） ・パソコンと本機を正しく接続してください。（P21） ・パソコンから本機を外し、再接続してください。
	録音ファイルのファイル名や録音日時情報が実際の日時と違う	・時計を合わせてください。（P8）

仕様

電源	乾電池	DC 1.5 V（単 4 形アルカリ乾電池× 1 本使用）

音声	サンプリング周波数（[ ] 内は音質）	44.1 kHz [HQ 128 kbps] 16 kHz [LP 32 kbps]
	録音方式	MP3
	周波数特性（−10 dB、録音 / 再生時）（[ ] 内は音質）	300 Hz ～ 21,000 Hz [HQ 128 kbps] 300 Hz ～ 6,700 Hz [LP 32 kbps]
	内蔵マイク S/N 比	41 dB (HQ) フィルター (JIS A)

USB		USB2.0（Hi-Speed）
音声出力	ヘッドホン端子（モノラル）	φ 3.5 mm, 16 Ω , 6 mW（JEITA）
	スピーカー出力	φ 20 mm, 8 Ω , 80 mW (JEITA)
音声入力	外部マイク端子（モノラル）	φ3.5 mm, 1.6 mV, プラグインパワー対応

最大外形寸法	37.5（W）mm × 107.8（H）mm × 15.7（D）mm
本体寸法	37（W）mm × 107.5（H）mm × 15（D）mm

質量	約 50 g（乾電池を含む）/ 約 39 g（乾電池を含まず）
使用温度範囲	0 ℃～ 40 ℃
使用湿度範囲	20%～ 80% RH（結露なきこと）

記録容量（メモリー容量）	2 GB ※ 1

※ 1 内蔵メモリーの使用可能領域は表示容量より少なくなります。

電池持続時間

（使用条件によっては短くなる場合があります。）

音質	録音時※ 2	再生時※ 3
HQ	約 23 時間	約 13 時間
LP	約 34 時間	約 15 時間

パナソニック単 4 形アルカリ乾電池を使用

※ 2 録音モニターなし、録音ランプ OFF

※ 3 スピーカー再生：音量 10

録音可能時間の目安

（使用条件によっては短くなる場合があります。）

音質	録音時間	ビットレート
HQ	約 34 時間	128 kbps
LP	約 136 時間	32 kbps

● この仕様は、性能向上のため変更することがあります。

お手入れ

■本機が汚れたら

乾いた柔らかい布でふいてください。

- 汚れがひどいときは、水にひたした布をよく絞ってから汚れをふき取り、そのあと、乾いた布でふいてください。
- ベンジン、シンナー、アルコール、台所洗剤などの溶剤または化学ぞうきんは、外装ケースが変質したり、塗装がはげるおそれがありますので使用しないでください。

■故障を防ぐために

- **ズボンの後ろポケットに入れて座らないでください。**
- **ヘッドホン（市販）を本機に巻きつけたまま、かばんの中に入れ、外から大きな力を加えないでください。**
  表示パネルの破損につながります。
- **本機に、雨水や水滴などがかからないようにしてください。**
- **本機を持ち運びするときは、落としたり、ぶつけたりしないでください。**
  強い衝撃が加わると、外装ケースが壊れたり、故障や誤動作の原因になります。

■本機を廃棄 / 譲渡するときは

内蔵メモリーのデータは、本機やパソコンで「消去」や「フォーマット」を行うと再生できなくなりますが、完全には消去されません。
セキュリティのため完全に消去したい場合は、市販のパソコン用データ消去ソフトなどを使うか、本機をフォーマットしたあと無音状態で録音するなどして内蔵メモリーを上書きしてください。

■修理依頼時のデータについて

修理をすると、内蔵メモリーおよび設定は、お買い上げ時の状態に戻る場合があります。

安全上のご注意 （必ずお守りください）

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠ 警告	⚠ 注意
「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。（次は図記号の例です）

🚫 してはいけない内容です。	❗ 実行しなければならない内容です。

⚠ 警告

異常・故障時には直ちに使用を中止する

❗ **異常があったときには、電池を取り出す**

- **煙が出たり、異常なにおいや音がする**
- **音声が出ないことがある**
- **内部に水や異物が入った**
- **本体が破損した**

そのまま使うと火災・感電の原因になります。

●電源を切り、販売店にご相談ください。

⚠ 警告

電池は誤った使いかたをしない

- **指定以外の電池を使わない**
- **乾電池は充電しない**
- **加熱・分解したり、水などの液体や火の中へ入れたりしない**
- **⊕ と ⊖ を針金などで接続しない**
- **金属製のネックレスやヘアピンなどといっしょに保管しない**
- **⊕ と ⊖ を逆に入れない**
- **被覆のはがれた電池は使わない**

取り扱いを誤ると、液もれ･発熱･発火･破裂などを起こし、火災や周囲汚損の原因になります。

●電池には安全のために被覆をかぶせています。これをはがすとショートの原因になりますので、絶対にはがさないでください。

単 4 形電池や USB 端子ふたは、乳幼児の手の届くところに置かない

誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。

●万一、飲み込んだら、すぐに医師にご相談ください。

内部に金属物を入れたり、水などの液体をかけたりぬらしたりしない

ショートや発熱により、火災・感電の原因になります。

●機器の近くに水などの液体の入った容器や金属物を置かないでください。

●特にお子様にはご注意ください。

乗り物を運転中に操作しない

事故の原因になります。

安全上のご注意（つづき）

⚠警告

乗り物を運転中や、周囲の音が聞こえないと危険な場所で、ヘッドホンを使わない

事故の原因になります。
踏切や駅のホーム、車道、工事現場など、特にご注意ください。

電池の液がもれたときは、素手でさわらない

- 液が目に入ったときは、失明のおそれがあります。目をこすらずに、すぐにきれいな水で洗ったあと、医師にご相談ください。
- 液が身体や衣服に付いたときは、皮膚の炎症やけがの原因になるので、きれいな水で十分に洗い流したあと、医師にご相談ください。

ヘッドホン使用時は、音量を上げすぎない

耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聴くと、聴力が大きく損なわれる原因になります。

分解、改造をしない

分解禁止

機器が故障したり、金属物が入ると、やけどや火災の原因になります。

使い切った電池は、すぐに機器から取り出す

そのまま機器の中に放置すると、電池の液もれや、発熱・破裂の原因になります。

⚠ 注意

異常に温度が高くなるところに置かない

特に真夏の車内、車のトランクの中は、想像以上に高温（約 60 ℃以上）になります。本機を絶対に放置しないでください。
火災の原因になることがあります。

- また、外装ケースや内部部品が劣化する原因にもなりますのでご注意ください。

スピーカーに磁気の影響を受けやすいものを近づけない

スピーカーの磁気の影響で、キャッシュカードや定期券、時計などが正しく機能しなくなることがあります。

- スピーカーは防磁設計ではありません。テレビ等の近くに置かないでください。

ヘッドホン接続前に、音量を下げる

音量を上げ過ぎた状態で接続すると、突然大きな音が出て耳を傷める原因になることがあります。

- 音量は少しずつ上げてご使用ください。

病院内や機内では、病院や航空会社の指示に従う

本機からの電磁波などが、計器類に影響を及ぼすことがあります。

長期間使わないときは、電池を取り出す

液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、火災や周囲汚損の原因になることがあります。

 よくお読みください

使いかた・お手入れ・修理などは
■まず、お買い求め先へ ご相談ください

▼お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名
電　話（　　　　　）　　　　－
お買い上げ日　　　　　年　　　月　　　日

修理を依頼されるときは

「こんな表示が出たら」、「故障かな !?」（P27 ～ 31）でご確認のあと、直らないときは、お買い上げ日と下の内容をご連絡ください。

● 製品名	IC レコーダー
● 品　番	RR-US300
● 故障の状況	できるだけ具体的に

●**保証期間中は、保証書の規定に従ってお買い上げの販売店が修理させていただきますので、おそれ入りますが、製品に保証書を添えてご持参ください。**

保証期間 : お買い上げ日から本体 1 年間

●**保証期間終了後は、診断をして修理できる場合はご要望により修理させていただきます。**

※修理料金は次の内容で構成されています。

技術料	**診断・修理・調整・点検などの費用**
部品代	**部品および補助材料代**
出張料	**技術者を派遣する費用**

※**補修用性能部品の保有期間** 6 年

当社は、この IC レコーダーの補修用性能部品（製品の機能を維持するための部品）を、製造打ち切り後 6 年保有しています。

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】

パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくときのために発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

■転居や贈答品などでお困りの場合は、次の窓口にご相談ください

ご使用の回線（IP 電話やひかり電話など）によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。

●使いかた・お手入れなどのご相談は…………

パナソニック 総合お客様サポートサイト

http://panasonic.co.jp/cs/

パナソニック お客様ご相談センター

電 話 365日 受付9時～20時

フリーダイヤル 携帯・PHS OK **0120-878-365**

※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

音声ガイダンスを短くするには、案内が聞こえたら電話機ボタンの「87」と「130 #」を押してください。（番号を押しても案内が続く場合は、「＊」ボタンを押してから操作してください。）

■上記番号がご利用いただけない場合 **06-6907-1187**

■FAX フリーダイヤル **0120-878-236**

Help desk for foreign residents in Japan

Tokyo (03) 3256 - 5444 **Osaka** (06) 6645 - 8787

Open : 9:00 - 17:30

(closed on Saturdays / Sundays / national holidays)

※上記の内容は、予告なく変更する場合があります。ご了承ください。

●修理に関するご相談は…………………………

パナソニック 修理サービスサイト

http://club.panasonic.jp/repair/

インターネットでのご依頼も可能です。

パナソニック 修理ご相談窓口

電 話

フリーダイヤル 携帯・PHS OK **0120-878-554**

※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

- 上記電話番号がご利用いただけない場合は、各地域の「修理ご相談窓口」におかけください。

・有料で宅配便による引取・配送サービスも承っております。

各地域の 修理ご相談窓口 ※電話番号をよくお確かめの上、おかけください。

• 地区・時間帯によって、集中修理ご相談窓口に転送させていただく場合がございます。

北海道地区		
札 幌	☎(011)894-1251	札幌市厚別区厚別南 2丁目17-7
旭 川	☎(0166)22-3011	旭川市2条通16丁目1166
帯 広	☎(0155)33-8477	帯広市西20条北2丁目23-3
函 館	☎(0138)48-6631	函館市西桔梗589番地241 （函館流通卸センター内）
首都圏地区		
栃 木	☎(028)689-2555	宇都宮市上戸祭3丁目3-19
群 馬	☎(027)254-2075	前橋市箱田町325-1
茨 城	☎(029)864-8756	つくば市筑穂3丁目15-3
埼 玉	☎(048)728-8960	桶川市赤堀2丁目4-2
千 葉	☎(043)208-6034	千葉市中央区末広5丁目9-5
東 京	☎(03)5477-9700	東京都世田谷区宮坂 2丁目26-17
山 梨	☎(055)222-5822	甲府市宝1丁目4-13
神奈川	☎(045)847-9720	横浜市港南区日野5丁目3-16
新 潟	☎(025)286-0180	新潟市東区東明1丁目8-14

東北地区		
青 森	☎(017)775-0326	青森市大字浜田字豊田364
秋 田	☎(018)868-7008	秋田市外旭川字小谷地3-1
岩 手	☎(019)645-6130	盛岡市厨川5丁目1-43
宮 城	☎(022)387-1117	仙台市宮城野区扇町7-4-18
山 形	☎(023)641-8100	山形市平清水1丁目1-75
福 島	☎(024)991-9308	郡山市亀田1丁目51-15
中部地区		
石 川	☎(076)280-6608	金沢市玉鉾2丁目266番地
富 山	☎(076)424-2549	富山市根塚町1丁目1-4
福 井	☎(0776)21-0622	福井市問屋町2丁目14
長 野	☎(0263)86-9209	松本市寿北7丁目3-11
静 岡	☎(054)287-9000	静岡市駿河区高松2丁目24-24
愛 知	☎(052)819-0225	名古屋市瑞穂区塩入町8-10
岐 阜	☎(058)278-6720	岐阜市中鶉4丁目42
三 重	☎(059)254-5520	津市久居野村町字山神421

近畿地区		
滋 賀	☎(077)582-5021	守山市水保町1166番地の1
京 都	☎(075)646-2123	京都市南区上鳥羽中河原3番地
大 阪	☎(06)7730-8888	大阪市城東区関目2丁目15-5
奈 良	☎(0743)59-2770	大和郡山市筒井町800番地
和歌山	☎(073)475-2984	和歌山市中島499-1
兵 庫	☎(078)796-3140	神戸市須磨区弥栄台3丁目13-4

中国地区		
鳥 取	☎(0857)26-9695	鳥取市安長295-1
米 子	☎(0859)34-2129	米子市米原4丁目2-33
松 江	☎(0852)23-1128	松江市平成町182番地14
出 雲	☎(0853)21-3133	出雲市渡橋町416
浜 田	☎(0855)22-6629	浜田市下府町327-93
岡 山	☎(086)242-6236	岡山市北区野田3丁目20番8号
広 島	☎(082)295-5011	広島市西区南観音1丁目13-5
山 口	☎(083)973-2720	山口市小郡下郷220-1

四国地区		
香 川	☎(087)874-3110	高松市国分寺町国分359番地3
徳 島	☎(088)624-0253	徳島市沖浜2丁目36
高 知	☎(088)834-3142	高知市仲田町2-16
愛 媛	☎(089)905-7544	愛媛県伊予郡砥部町八倉75-1

九州地区		
福 岡	☎(092)593-8002	春日市春日公園3丁目48
佐 賀	☎(0952)26-9151	佐賀市鍋島町大字八戸字上深町3044
長 崎	☎(095)830-1658	長崎市東町1919-1
大 分	☎(097)556-3815	大分市萩原4丁目8-35
宮 崎	☎(0985)63-1213	宮崎市本郷北方字草葉2099-2
熊 本	☎(096)367-6067	熊本市健軍本町12-3
鹿児島	☎(099)250-5657	鹿児島市与次郎1丁目5-33
大 島	☎(0997)53-5101	奄美市名瀬朝仁町11-2

沖縄地区		
沖 縄	☎(098)877-1207	浦添市城間4丁目23-11

所在地、電話番号は変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。最新の「各地域の修理ご相談窓口」はホームページをご活用ください。http://panasonic.co.jp/cs/service/area.html

0511

ご愛用者登録について

会員サイト「CLUB Panasonic」で「**ご愛用者登録**」をしてください

PC http://club.panasonic.jp/ 携帯

※このサービスはWEB限定のサービスです。

著作権について

放送や CD、MD、レコード、その他の録音物の音楽作品は、音楽の歌詞、楽曲などと同じく、著作権法により保護されています。

あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

- このマークがある場合は -

ヨーロッパ連合以外の国の廃棄処分に関する情報



このシンボルマークは EU 域内でのみ有効です。製品を廃棄する場合には、最寄りの市町村窓口、または販売店で、正しい廃棄方法をお問い合わせください。

商標について

- Microsoft、Windows、Windows Media および Windows Vista は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- MPEG Layer-3 オーディオコーディング技術は、Fraunhofer IIS および Thomson からライセンスを受けています。
- IBM および PC/AT は米国 International Business Machines Corporation の登録商標です。
- Macintosh および Mac OS は米国 Apple Inc. の商標です。
- その他、本文で記載されている各種名称、会社名、商品名などは各社の商標または登録商標です。なお、本文中では ™、® マークは一部明記していません。

〈無料修理規定〉

1.取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。
　(イ) 無料修理をご依頼になる場合には、商品に取扱説明書から切り離した本書を添えていただきお買い上げの販売店にお申しつけください。
　(ロ) お買い上げの販売店に無料修理をご依頼にならない場合には、お近くの修理ご相談窓口にご連絡ください。
2.ご転居の場合の修理ご依頼先等は、お買い上げの販売店またはお近くの修理ご相談窓口にご相談ください。
3.ご贈答品等で本保証書に記入の販売店で無料修理をお受けになれない場合には、お近くの修理ご相談窓口へご連絡ください。
4.保証期間内でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。
　(イ) 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
　(ロ) お買い上げ後の取付場所の移設、輸送、落下などによる故障及び損傷
　(ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変及び公害、塩害、ガス害(硫化ガスなど)、異常電圧、指定外の使用電源(電圧、周波数)などによる故障及び損傷
　(ニ) 車両、船舶等に搭載された場合に生ずる故障及び損傷
　(ホ) 一般家庭用以外(例えば業務用など)に使用された場合の故障及び損傷
　(ヘ) 本書のご添付がない場合
　(ト) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
　(チ) 持込修理の対象商品を直接修理窓口へ送付した場合の送料等はお客様の負担となります。また、出張修理等を行った場合には、出張料はお客様の負担となります。
5.本書は日本国内においてのみ有効です。
6.本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。
7.お近くのご相談窓口は取扱説明書の保証とアフターサービス欄をご参照ください。
(ご相談窓口一覧表を同梱の場合)
お近くのご相談窓口は同梱別紙の一覧表をご参照ください。

修理メモ

※お客様にご記入いただいた個人情報(保証書控)は、保証期間内の無料修理対応及びその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございますのでご了承ください。
※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、保証書を発行している者(保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはお近くの修理ご相談窓口にお問い合わせください。
※保証期間経過後の修理や補修用性能部品の保有期間については取扱説明書の「保証とアフターサービス」をご覧ください。
※This warranty is valid only in Japan.

Panasonic

持込修理

ICレコーダー保証書

本書はお買い上げの日から下記期間中故障が発生した場合には本書裏面記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。ご記入いただきました個人情報の利用目的は本票裏面に記載しております。お客様の個人情報に関するお問い合わせは、お買い上げの販売店にご連絡ください。詳細は裏面をご参照ください。

品　番	RR-US300
保証期間	お買い上げ日から 本体 1年間
※お買い上げ日	年　月　日
※お客様	ご住所 お名前　様 電　話（　　）　ー
※販売店	住所・販売店名 電話（　　）　ー

見本

パナソニック株式会社　AVCネットワークス社
ネットワークシステム事業グループ
〒571-8504 大阪府門真市松生町1番15号　TEL (06) 6908-1551

ご販売店様へ　※印欄は必ず記入してお渡しください。